

安全に
使うための

はんげしゃしんとう 半夏瀉心湯の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に半夏瀉心湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

いいえ

はい

次のような症状がありますか？

- 急性・慢性胃腸炎
- 胃下垂
- 胸焼け、げっぷ
- 神経症（不眠、いらいらなど）
- 下痢、もしくは軟便
- 神経性胃炎
- 口内炎

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません*

- 心臓に不具合はありますか？
- 腎臓に不具合はありますか？
- 血圧はひどく高いですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

平素の体力はひどく虚弱ですか？

やや虚弱／中等度以上

ひどく虚弱

- みぞおちにつかえや違和感がありますか？
- 胃が気持ち悪く、お腹がゴロゴロなったりしますか？
- 悪心や吐き気がありますか？
- 軟便、下痢の傾向がありますか？

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれませんが、あなたの意思により服用可能です



服用できます

* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

効能・効果

体力中等度で、みぞおちがつかえた感じがあり、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便又は下痢の傾向のあるものの次の諸症：急・慢性胃腸炎、下痢・軟便、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症

日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

ウチダの中焦健和	ウチダ和漢薬	半夏瀉心湯エキス散〔勝昌〕	東洋薬行
オオクサ半夏瀉心湯エキス錠	大草薬品	半夏瀉心湯エキス錠Fクラシエ	クラシエ薬品
鶴寿（エキス顆粒）	建林松鶴堂	半夏瀉心湯エキス錠〔大峰〕	大峰堂薬品工業
三共胃腸薬〔漢方〕	第一三共ヘルスケア	半夏瀉心湯〔タキザワ〕	タキザワ漢方廠
JPS半夏瀉心湯エキス錠N	ジェーピーエス製薬	ハンシャンV〔コタロー〕（半夏瀉心湯エキス錠）	小太郎漢方製薬
錠剤 半夏瀉心湯	一元製薬	ホノミイチョウ錠	劑盛堂薬品
ツムラ漢方半夏瀉心湯エキス顆粒	ツムラ	本草半夏瀉心湯エキス顆粒-M	本草製薬
半夏瀉心湯Aエキス細粒〔分包〕三和生薬	三和生薬	モリ漢方胃腸薬	大杉製薬
半夏瀉心湯エキス顆粒KM	カーヤ	ワクナガ半夏瀉心湯エキス細粒	湧永製薬
半夏瀉心湯エキス〔細粒〕53	松浦薬業		

使用上の注意（平成26年6月現在）

してはいけないこと

次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

処方構成生薬

半夏、黄芩、乾姜、人参、甘草、大棗、黄連

半夏瀉心湯の体力分類に対する適応度（服用される方の普通の体力でお考えください）

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	1	2	1	0

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位（急性胃腸炎、二日酔、げっぷ、胸やけに服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。